

蒼穹 NEWS

No.8

関西学生駅伝・京都学生駅伝総括号

平成 25 年 12 月 15 日発行



～～～ 目 次 ～～～

1. 関西学生駅伝の総括
2. 監督挨拶
3. 関西学生駅伝の結果
4. 関西学生駅伝の詳細
5. 京都学生駅伝の結果
6. 京都学生駅伝の詳細

関西学生駅伝の総括

去る11月24日、場所が丹後半島に移り、第75回関西学生駅伝が行われました。前年、前々年と打って変わってよい天気の中でレースが進められました。前年5位の雪辱を果たすため、関西4強の牙城を崩すために、京都大学陸上競技部一丸となって本大会に臨みました。

1区久好は先頭と19秒差で幸先のいい出だし、その流れで2区平井健太郎は宣言通り先頭に躍り出て、後続を大きく引き離すと同時にチーム1個目の区間賞を獲得。3区櫻井は順位を1個落としたものの上位をキープし、4区不破で苦戦し、一時は6位まで落ちるが何とか望みをつなぐ。5区横山でもう一度盛り返し、ライバル校を大きく引き離す走り。28分台をマークしている上門(京産大)にも勝ち2個目の区間賞。6区高石は何とか粘るもののラストで関学・大経に引き離され、7区平井幹は関学・大経に追いつき3個目の区間賞を獲得するもライバル校に大きな差を広げるまでには至らず、8区下迫田は最後まで食らいつくも競り負け、5位でゴール。

順位は去年と同じ5位で、残念ながら目標は達成できませんでしたが、3,4位とは19秒差と去年から躍進しているのは事実です。来年の全日本大学駅伝出場が現実味を帯びてきたと言える結果でもあります。

来年もほぼ同じ布陣で臨める見込みです。今回区間賞を獲得した3人、トリプルエースは長距離パートの強みですが、同時につなぎ区間でライバル校に差を広げられたことは課題です。どう考えてもまだまだ層の薄さは否めないのも、小御門チーフの下、強みを生かしつつもしっかり弱点を克服し、来年の全日本大学駅伝出場に向けて精進を重ねていきたいと思っておりますので、今後ともご支援、ご声援よろしく申し上げます。

最後になりましたが、先日は遠くの地にもかかわらず足を運んでいただき、ご声援、ご支援本当にありがとうございました。

京都大学陸上競技部長距離パートチーフ 平井 幹

監督挨拶

去る11月24日、丹後半島にて関西学生駅伝が行われました。去年の雪辱を果たすべく、関西4位以上を目標に臨みました。しかし結果は5位となり残念ながら目標達成はなりませんでした。

内容は決して悪くありませんでした。平井幹(4)、横山裕(4)、平井健(2)の3人が区間賞を取るなど、立派な走りを見せたおかげで最後まで3位争いに絡むことができました。特に2区平井健(2)では一時トップに立ちましたが、これは数十年ぶりの快挙であります。チームとしても適材適所の配置ができ、持てる力は出せたと思います。それでも負けたということは実力不足です。選手層が薄いままでは勝てない、ということのを改めて痛感させられました。

また、12月1日に行われました京都駅伝についても、立命館、京産に破れ3位となりました。2位の京産とは30秒差であり、非常に悔しい結果です。今回は丹後駅伝からの切り替えが不十分であったことが敗因でしょう。関西上位との差は確実に縮まっていますので、今回の悔しさを糧にしてさらに精進します。

今回の京都駅伝をもって今シーズンの対校戦がすべて終了し、これから本格的な冬期練習に入ります。来年度は関西インカレ1部残留、全国学生駅伝出場、七大戦連覇が大きな目標となります。特に関西インカレでは1部で戦うことが5年ぶりということもあり、非常に厳しい戦いになるでしょう。目標達成のためには、一人一人がより高い意識を持って練習に臨み、さらにチーム全体で高め合っていくことが重要となるでしょう。

蒼穹会の皆様には日頃より多大なご支援・ご声援を頂きどうもありがとうございます。来年度も良い結果をご報告できますように部員一同精進いたします。今後とも変わらぬご支援・ご声援のほど、よろしくお願い申し上げます。

京都大学陸上競技部監督 堀田 孝之

関西学生駅伝の結果

丹後建国 1300 年記念事業 丹後大学駅伝 第 75 回関西学生対校駅伝競走大会
(11 月 24 日 丹後地方コース)

総合順位	記録	大学	第1区 8.0km	第2区 8.8km	第3区 7.0km	第4区 9.7km	第5区 12.3km	第6区 11.8km	第7区 12.1km	第8区 11.5km
1	4:10:50	京都産業大	小田 隼平 (5) 24:13 (5) 24:13	林 俊宏 (4) 53:42 (5) 29:29	寺西 雅俊 (3) 1:14:10 (4) 20:28	佐野 克斗 (1) 1:44:25 (1) 30:15	上門 大祐 (1) 2:21:26 (2) 37:01	小橋 憲人 (1) 2:57:07 (1) 35:41	中西 健 (1) 3:34:42 (6) 37:35	中井 脩人 (1) 4:10:50 (2) 36:08
2	4:10:50	立命館大	吉村 直人 (1) 24:02 (1) 24:02	中野内 直人 (6) 54:03 (7) 30:01	山本 大志 (6) 1:14:28 (3) 20:25	大谷 宥喜 (4) 1:44:47 (2) 30:19	濱野 秀 (2) 2:22:20 (4) 37:33	荒木 尚馬 (2) 2:58:38 (2) 36:18	片渕 恵太 (2) 3:36:00 (2) 37:22	南雲 翔太 (2) 4:10:50 (1) 34:50
3	4:14:07	大阪経済大	富山 恭平 (13) 24:31 (13) 24:31	谷本 旭洋 (5) 53:46 (4) 29:15	松下 良祐 (4) 1:14:17 (5) 20:31	山口 良輔 (3) 1:44:44 (4) 30:27	為石 勇太 (5) 2:23:08 (7) 38:24	藤原 悠希 (3) 2:59:36 (4) 36:28	溝渕 大輔 (4) 3:37:09 (4) 37:33	津田 圭祐 (3) 4:14:07 (7) 36:58
4	4:14:07	関西学院大	辻横 浩輝 (2) 24:06 (2) 24:06	山上 総太 (8) 54:29 (9) 30:23	大川 和輝 (7) 1:14:50 (2) 20:21	甲斐 将樹 (5) 1:45:13 (3) 30:23	小山 陽平 (6) 2:23:15 (5) 38:02	本藤 光 (4) 2:59:40 (3) 36:25	川口 貴大 (5) 3:37:10 (3) 37:30	児子 侑樹 (4) 4:14:07 (6) 36:57
5	4:14:26	京都大	久好 哲郎 (8) 24:21 (8) 24:21	平井健太郎 (1) 52:47 (1) 28:26	櫻井大介 (2) 1:13:54 (9) 21:07	不破 佑太 (6) 1:45:24 (12) 31:30	横山 裕樹 (3) 2:22:23 (1) 36:59	高石 雅貴 (6) 3:00:07 (8) 37:44	平井 幹 (3) 3:37:02 (1) 36:55	下迫田啓太 (5) 4:14:26 (11) 37:24
6	4:16:17	龍谷大	下村 征寛 (10) 24:24 (10) 24:24	西川 凌矢 (3) 53:26 (2) 29:02	内波 郁弥 (1) 1:13:42 (1) 20:16	藤村 耕大 (2) 1:44:42 (6) 31:00	足垣 練 (4) 2:23:05 (6) 38:23	古和田 葵 (5) 2:59:48 (5) 36:43	大谷 祐介 (6) 3:39:24 (10) 39:36	塩崎 貴昭 (6) 4:16:17 (5) 36:53
7	4:18:01	同志社大	山谷 直彦 (14) 24:35 (14) 24:35	山口 裕一 (7) 54:20 (6) 29:45	林 幹太 (9) 1:16:12 (14) 21:52	小出 佑紀 (9) 1:47:15 (9) 31:03	吉田 暖英 (10) 2:26:41 (12) 39:26	酒井 翼 (9) 3:03:53 (7) 37:12	石井 健太 (7) 3:41:27 (5) 37:34	村椿 樹弥 (7) 4:18:01 (3) 36:34
8	4:19:29	関西大	下藪 智史 (6) 24:18 (6) 24:18	岡崎 竜也 (11) 55:23 (14) 31:05	石井 耕介 (12) 1:16:42 (11) 21:19	米沢 玲 (8) 1:47:13 (5) 30:31	兵頭 眞弥 (7) 2:25:39 (8) 38:26	稲垣 諒 (7) 3:03:29 (10) 37:50	辻村 拓磨 (8) 3:42:26 (8) 38:57	松本 道義 (8) 4:19:29 (9) 37:03
9	4:22:27	大阪学院大	後藤 祐樹 (3) 24:06 (3) 24:06	岡田 将輝 (2) 53:13 (3) 29:07	高橋 裕次 (5) 1:14:24 (10) 21:11	平尾 隆将 (7) 1:45:52 (11) 31:28	堺 貴規 (8) 2:26:03 (17) 40:11	越知 勇氣 (11) 3:04:57 (15) 38:54	友井 貢 (11) 3:45:37 (16) 40:40	宇野 弘規 (9) 4:22:27 (4) 36:50
10	4:22:33	兵庫県立大	木村 悠 (11) 24:29 (11) 24:29	胸永 拓也 (9) 54:37 (8) 30:08	田中 裕久 (13) 1:17:03 (17) 22:26	濱端 良輔 (14) 1:49:13 (15) 32:10	村本 一樹 (9) 2:26:22 (3) 37:09	安田 慎 (10) 3:04:11 (9) 37:49	立井 直樹 (10) 3:45:32 (17) 41:21	長島 俊泰 (10) 4:22:33 (8) 37:01
11	4:22:51	奈良産業大	タイタスキハラ (7) 24:21 (7) 24:21	森 友哉 (10) 55:20 (13) 30:59	吹ノ戸 克之 (11) 1:16:21 (8) 21:01	草川 麟太郎 (11) 1:47:22 (7) 31:01	藤澤 博貴 (11) 2:26:42 (11) 39:20	山田 優雅 (8) 3:03:48 (6) 37:06	藤原 幹大 (9) 3:45:26 (18) 41:38	松本 研人 (11) 4:22:51 (12) 37:25
12	4:23:27	大阪体育大	小松 亮裕 (9) 24:22 (9) 24:22	谷口 卓 (14) 55:37 (15) 31:15	川畑 風雅 (14) 1:17:40 (15) 22:03	立川 拓 (13) 1:48:41 (7) 31:01	大森 誠也 (13) 2:27:59 (9) 39:18	山口 誠 (14) 3:06:37 (13) 38:38	和田 周平 (14) 3:46:14 (11) 39:37	東浦 克幸 (12) 4:23:27 (10) 37:13
13	4:23:31	大阪大	大竹 宏明 (12) 24:30 (12) 24:30	三根 亨 (13) 55:28 (12) 30:58	藤田 達郎 (10) 1:16:14 (7) 20:46	森田 崇聖 (12) 1:48:28 (16) 32:14	酒井 健 (14) 2:28:00 (15) 39:32	松井 健太 (13) 3:06:32 (12) 38:32	有本 啓 (13) 3:45:57 (9) 39:25	廣畑 信 (13) 4:23:31 (13) 37:34

14	4:23:48	近畿大	林 亮太 (16) 24:50 (16) 24:50	松田 凌汰 (12) 55:27 (10) 30:37	清田 貴之 (8) 1:16:10 (6) 20:43	須山 正規 (10) 1:47:20 (10) 31:10	岩崎 陽 (12) 2:26:46 (12) 39:26	中島 悠暉 (12) 3:05:26 (14) 38:40	森口 一平 (12) 3:45:45 (14) 40:19	吉本 侑平 (14) 4:23:48 (14) 38:03
15	4:27:24	神戸大	丸岡 克成 (17) 24:57 (17) 24:57	東 達也 (16) 56:18 (16) 31:21	嶋田 凌 (15) 1:18:00 (13) 21:42	日比 鷹平 (15) 1:49:55 (13) 31:55	黒島 康平 (15) 2:29:25 (14) 39:30	山口 康樹 (15) 3:08:53 (16) 39:28	阿賀 康生 (15) 3:48:59 (12) 40:06	関口 泰樹 (15) 4:27:24 (17) 38:25
16	4:29:45	甲南大	原田 拓哉 (15) 24:48 (15) 24:48	飯尾 峻浩 (15) 55:45 (11) 30:57	永江 和久 (16) 1:18:39 (20) 22:54	仁木 俊輔 (16) 1:50:43 (14) 32:04	立花 勇人 (16) 2:31:02 (18) 40:19	木村 友彦 (16) 3:09:12 (11) 38:10	尾崎 一騎 (16) 3:51:23 (19) 42:11	桑山 俊毅 (16) 4:29:45 (16) 38:22
17	4:30:51	びわこ成蹊 スポーツ大	佐俣 一輝 (4) 24:12 (4) 24:12	石田 研摩 (19) 57:49 (19) 33:37	笠岡 康大 (18) 1:19:30 (12) 21:41	谷口 健吾 (17) 1:51:59 (17) 32:29	小角 賢吾 (18) 2:33:24 (20) 41:25	高橋 史門 (18) 3:13:19 (17) 39:55	大槻 昇平 (17) 3:51:55 (7) 38:36	石野 航 (17) 4:30:51 (19) 38:56
18	4:30:52	滋賀大	山本 賢悟 (18) 25:29 (18) 25:29	谷本 貴久 (17) 57:03 (17) 31:34	岡久 広 (17) 1:19:14 (16) 22:11	日夏 祐貴 (18) 1:52:31 (18) 33:17	後藤 駿弥 (17) 2:32:06 (16) 39:35	於久田 達希 (17) 3:12:05 (18) 39:59	西島 伸樹 (18) 3:52:36 (15) 40:31	堀 大樹 (18) 4:30:52 (15) 38:16
19	4:35:20	大阪市立大	山口 雄也 (19) 25:41 (19) 25:41	黒野 佳秀 (18) 57:39 (18) 31:58	成田 正彰 (19) 1:20:08 (18) 22:29	佐藤 康太 (19) 1:54:34 (20) 34:26	近田 昌志 (19) 2:35:05 (19) 40:31	出原 祥磨 (19) 3:15:42 (20) 40:37	大村 成樹 (19) 3:55:48 (12) 40:06	前田 雄斗 (19) 4:35:20 (20) 39:32
20	4:38:52	神戸学院大	荒内 健朗 (20) 26:46 (20) 26:46	中道 滉太 (20) 1:00:45 (20) 33:59	海老 雄大 (20) 1:23:23 (19) 22:38	前田 健太 (20) 1:57:26 (19) 34:03	中嶋 真 (20) 2:36:44 (9) 39:18	水畑 卓也 (20) 3:17:20 (19) 40:36	橋本 有貴 (20) 4:00:14 (20) 42:54	南條 祐次 (20) 4:38:52 (18) 38:38

上段の記録と()内は通過記録と通過順位、下段は区間記録と区間順位。

関西学生駅伝の詳細

1区 8.0km 久好 哲郎 (4) 24分21秒 (区間8位・通過8位)

1区を走るのには四回生の久好哲郎。予想されていた通り、大きな集団が形成されレースは進む。先頭を引く奈良産大のT.キハラがたびたび集団に対し揺さぶりをかけるが、なかなか縦長にはならない。レースが動いたのはラスト2.5km、大阪学院の後藤が仕掛け、集団は一気に崩れ去る。久好はこれに喰らいつくが、立命館の吉村が前に出たのには対応することができなかった。しかし、彼はその後は四回生らしい気迫の走りを見せ、T.キハラと競りながら第一中継所へ。思いがけない好位置で2区の平井健太郎へと襷を繋いだ。

2区 8.8km 平井 健太郎 (2) 28分26秒 (区間1位・通過1位)

2区。後半3kmで140mの七竜峠を駆け上がる厳しい区間を任されたのは2回生の平井健太郎。前半でチームを勢いづける走りが求められた。1区から先頭と20秒差の8位で受けると、前を走る選手を次々と捉え、ラスト3kmの七竜峠に入るところで先頭に立つ。後半の厳しい登りでもリズムは変わらず、後続をさらに引き離し、中継所で2位に26秒差をつけてタスキリレー。流れを完全に京大へ引き込んだ。個人でも区間二位を36秒上回る圧倒的な区間賞、力を見せつける走りであった。

3区 7.0km 櫻井 大介 (2) 21分07秒 (区間9位・通過2位)

3区を走ったのは今年が初の関西学生駅伝となる2回生中距離の櫻井。2位と26秒差と大差の1位で襷を受け取った。この流れを続けていきたいところ。序盤の下り坂は落ち着きつつもスピードにのって駆け下っていった。だが3.5km地点で早くも後続の龍谷に追い付かれると5kmまでに12秒差をつけられる。ラストの2kmを落ち続けることだけは避け、先頭とは変わらず12秒差の2位で襷を繋いだ。京産に16秒差、立命館に34秒差、大経に23秒差、関学に56秒差にまで大幅に差を縮められた。想定されうることではあったが、ここで大きく貯金を削り後ろに負担をかける結果であったと言える。

4区 9.7km 不破 佑太 (M1) 31分30秒 (区間12位・通過6位)

4区を走るのにはチーム最上級生の不破。1位の龍谷大学と12秒差の2位という絶好の位置で襷をもらい、落ち着いて走り出す。アップダウンの厳しいタフなコースのため後半まで余力を残すことがポイントであったが、2km前で京都産業大学に追い抜かれ、リズムが乱れてしまう。アップダウンに苦しみ、結局順位を6位まで下げてしまった。それでも、最後まで粘りきり後続の選手に望みを託した。

5区 12.3km 横山 裕樹 (4) 36分59秒 (区間1位・通過3位)

最長区間の5区を任されたのは秋に5000m、10000mでベストを更新した4回生の横山。6位で襷を受け取ると10秒前の関学、40秒ほど前の立命、大経、龍谷を猛追する。最初の1kmを2'50と飛ばして通過すると3km付近で関学、5km手前で大経、龍谷を抜き去り、立命を追う。しかし5km通過が14分30秒台とハイペースだったため、次第に足が止まり立命ともじわじわと離されてしまう。しかし一番苦しい9km地点で京大の応援を受けると、息を吹き返し再び立命に迫る。最後は惜しくも3秒届かず3位で高石に襷を繋いだ。しかし後ろとは約50秒の差をつけ、さらには区間賞も獲得し、4年間の集大成を最高の形で飾ったと言えよう。

6区 11.8km 高石 雅貴 (1) 37分44秒 (区間8位・通過6位)

6区を任されたのは今回が大学駅伝デビューとなる高石。後続との差を50秒ほどに押し広げ3位まで順位を上げた5区の横山から襷を受けると落ち着いたペースで走り始める。実力を考えると追いつかれるのは必至、追

いつかれてからが勝負と考え、前半は余裕を持ったペースで 5km 通過は 15'45。6.5km 付近で大経・関学に追いつかれてそこから並走するも 9.5km 過ぎで 2 校にスパートをかけられそれに対応できずに逆にペースを落としてしまう。結局、龍谷にも抜かれ大経・関学とは 30 秒の差をつけられて 6 位で 7 区の平井幹に襷リレー。上位校との実力差を痛感させられる結果となった。

7 区 12.1km 平井 幹 (4) 36 分 55 秒 (区間 1 位・通過 3 位)

7 区を走るのはチーフの平井幹。関学大経とは約 30 秒差、龍谷とは約 20 秒差の 6 位で襷を受け取った。序盤で龍谷をかわし、関学大経を追う。下りを利用して徐々に差を縮め、7km すぎで関学大経を捕らえた。そこから引き離しにかかるが関学大経も粘る。最後は関学大経に競り勝って関西 3 位で中継。個人では堂々の区間賞を獲得して最後にチーフらしい走りが見せたが、大量リードを作るまでには至らなかった。僅差でアンカー下迫田に関西 4 位を託すことになった。

8 区 11.5km 下迫田 啓太 (2) 37 分 24 秒 (区間 11 位・通過 5 位)

8 区アンカーを走るのは 2 回生の下迫田。3 位という好位置で襷を受け取るが、後続とはあまり差がなく、1km 過ぎからは関学・大経と並走に。牽制のレース展開となった。8km すぎで大経の選手が仕掛けると、集団からこぼれてしまう。4 位を目指すチームとしてなんとか粘り切りたいところであったが、大経・関学の二選手とは実力の差があったように思われる。沿道からのたくさんの応援に力をもらったが、3 位・4 位と 19 秒の 5 位でゴール。悔しい結果となった。

京都学生駅伝の結果

第80回京都学生駅伝競走大会 (12月1日 京都洛北コース)

順位	記録	チーム	第1区 7.8km	第2区 5.2km	第3区 5.4km	第4区 7.8km	第5区 5.2km	第6区 9.2km
1	2:02:20	立命館大	荒木 尚馬 (5) 24:15 (5) 24:15	濱野 秀 (2) 39:05 (1) 14:50	大谷 宥喜 (2) 55:17 (1) 16:12	吉村 直人 (1) 1:19:13 (1) 23:56	片渕 恵太 (1) 1:34:08 (1) 14:55	南雲 翔太 (1) 2:02:20 (3) 28:12
2	2:02:40	京都産業大	上門 大祐 (1) 23:48 (1) 23:48	小田 隼平 (1) 38:49 (2) 15:01	小橋 憲人 (1) 55:04 (2) 16:15	林 俊宏 (2) 1:19:21 (3) 24:17	中西 健 (2) 1:34:33 (2) 15:12	佐野 克斗 (2) 2:02:40 (2) 28:07
3	2:03:11	京都大	横山 裕樹 (3) 24:01 (3) 24:01	久好 哲郎 (4) 39:13 (5) 15:12	高石 雅貴 (5) 55:55 (6) 16:42	平井 幹 (3) 1:19:56 (2) 24:01	下迫田 啓太 (3) 1:35:40 (5) 15:44	平井 健太郎 (3) 2:03:11 (1) 27:31
4	2:05:11	同志社大	石井 健太 (4) 24:07 (4) 24:07	村椿 樹弥 (5) 39:14 (3) 15:07	吉田 暖英 (4) 55:50 (4) 16:36	酒井 翼 (5) 1:21:27 (6) 25:37	山谷 直彦 (5) 1:36:40 (3) 15:13	山口 裕一 (4) 2:05:11 (4) 28:31
5	2:05:30	龍谷大	西川 凌矢 (2) 23:58 (2) 23:58	内波 郁弥 (3) 39:06 (4) 15:08	古和田 葵 (3) 55:32 (3) 16:26	下村 征寛 (4) 1:20:34 (5) 25:02	足垣 練 (4) 1:35:58 (4) 15:24	藤村 耕大 (5) 2:05:30 (5) 29:32
6	2:10:53	佛教大	田邊 健 (7) 25:42 (7) 25:42	前田 晃希 (6) 41:17 (6) 15:35	今田 真哉 (6) 57:58 (5) 16:41	西垣 信良 (7) 1:24:49 (8) 26:51	石原 翔太 (7) 1:41:20 (7) 16:31	小寺 滉基 (6) 2:10:53 (6) 29:33
7	2:11:05	滋賀大	谷本 貴久 (6) 25:23 (6) 25:23	堀 大樹 (7) 41:34 (8) 16:11	於久田 達希 (7) 58:53 (7) 17:19	西島 伸樹 (6) 1:24:48 (7) 25:55	日夏 祐貴 (6) 1:41:03 (6) 16:15	後藤 駿弥 (7) 2:11:05 (7) 30:02
8	2:15:58	京都教育大	野上 大介 (9) 26:10 (9) 26:10	清水 大幹 (9) 42:44 (9) 16:34	川村 智貴 (9) 1:01:17 (8) 18:33	東海 寛志 (9) 1:28:29 (9) 27:12	池田 悠真 (9) 1:45:13 (8) 16:44	山田 卓也 (8) 2:15:58 (8) 30:45
9	2:18:47	京都工芸繊維大	和田 倫太郎 (8) 25:45 (8) 25:45	谷口 慧 (8) 41:52 (7) 16:07	森 秀晃 (8) 1:00:54 (9) 19:02	久本 駿輔 (8) 1:25:47 (4) 24:53	中谷 宙詩 (8) 1:44:29 (9) 18:42	森 健太 (9) 2:18:47 (9) 34:18

上段の記録と()内は通過記録と通過順位、下段は区間記録と区間順位。

～オープンの部～

順位	記録	チーム	第1区 7.8km	第2区 5.2km	第3区 5.4km	第4区 7.8km	第5区 5.2km	第6区 9.2km
	2:05:25	立命館大	松延 佑馬 (OPN) 24:50 (OPN) 24:50	山本 大志 (OPN) 40:06 (OPN) 15:16	平松 大輔 (OPN) 56:44 (OPN) 16:38	中野内 直人(2) (OPN) 1:21:27 (OPN) 24:43	村武 慎平 (OPN) 1:36:38 (OPN) 15:11	細田 大智 (OPN) 2:05:25 (OPN) 28:47
	2:11:37	龍谷大	塩崎 貴昭 (OPN) 25:04 (OPN) 25:04	山本 拓実 (OPN) 41:17 (OPN) 16:13	山本 将希 (OPN) 58:19 (OPN) 17:02	秦 純一 (OPN) 1:24:30 (OPN) 26:11	武田 一志 (OPN) 1:40:27 (OPN) 15:57	廣瀬 翔太 (OPN) 2:11:37 (OPN) 31:10
	2:12:25	京都大	新田 一樹 (OPN) 25:22 (OPN) 25:22	岡本 和晃 (OPN) 41:32 (OPN) 16:10	寶 雄也 (OPN) 58:54 (OPN) 17:22	稲垣 達也 (OPN) 1:24:57 (OPN) 26:03	渡邊 駿 (OPN) 1:41:32 (OPN) 16:35	岡野 椋介 (OPN) 2:12:25 (OPN) 30:53
	2:15:38	同志社大	池田 貴則 (OPN) 26:51 (OPN) 26:51	山崎 貴史 (OPN) 43:13 (OPN) 16:22	小出 佑紀 (OPN) 1:00:31 (OPN) 17:18	林 幹太 (OPN) 1:27:17 (OPN) 26:46	清水 陽介 (OPN) 1:43:59 (OPN) 16:42	藤澤 貴仁 (OPN) 2:15:38 (OPN) 31:39
	2:22:36	大阪市立大	黒野 佳秀 (OPN) 26:28 (OPN) 26:28	成田 正彰 (OPN) 43:21 (OPN) 16:53	出原 祥磨 (OPN) 1:01:02 (OPN) 17:41	梶井 規貴 (OPN) 1:29:10 (OPN) 28:08	小倉 涼太 (OPN) 1:46:35 (OPN) 17:25	西内 湊太 (OPN) 2:22:36 (OPN) 36:01

京都学生駅伝の詳細

1区 7.8km 横山 裕樹 (4) 24分01秒 (区間3位・通過3位)

1区は2年振りとなる横山。スタート直後はスローだったものの京産の選手が飛び出し急にペースが上がる。2km過ぎ、狐坂でも京産が揺さぶりをかけ、先頭集団は京大を含む5校に絞られる。6km地点で京産の選手が一気にスパートをかけると集団がばらけ、横山も懸命に追いかけるが徐々に差が開く。最後の下りで前との差を詰めるも、京産から12秒、龍谷から3秒後ろの3位で久好に襷を繋いだ。3位を確保するというチームの目標を考えると最低限の結果は残したと言えるが、1区としていい流れを作れず、また個人としてもレース運びに課題を感じる結果となり、不完全燃焼な思いが残った。

2区 5.2km 久好 哲郎 (4) 15分12秒 (区間5位・通過4位)

2区は2年連続の久好哲郎。1区の横山裕樹から3位という好位置で襷を受け取った。すぐ前に行く龍大の内波をほどなく捕らえるが、後ろからは同大の村椿に追いつかれる。久好はそのまま前を引くが、後ろからは立大の濱野が迫っていた。3km通過時点で濱野が前へ。4人の集団が形成されるが、久好はラスト800mのところまで離されてしまう。最後、村椿を前へ出させはしなかったが、勝負所で粘りきれず3区高石へと襷を渡すことになってしまい、やや悔しさの残るレースであった。

3区 5.4km 高石 雅貴 (1) 16分42秒 (区間6位・通過5位)

立命・龍谷の後ろ8秒、同志社の前1秒という絶好の位置で久好から襷を受けると、前との差を詰めるにかかる同志社について行く形で前を追い序盤で立命・龍谷と多少その差が詰まるも中盤以降じりじりと離されていく。その後は同志社との並走状態が続き、中継所まで700mというところで同志社がスパート。最後は失速した同志社との距離を詰めるも同志社とは5秒差、立命・龍谷にもさらにその差を上げられて襷リレー。関西学生駅伝に続いてラストの勝負強さに課題が残った。

4区 7.8km 平井 幹 (4) 24分01秒 (区間2位・通過3位)

4区は平井幹が務める。前4校は見える位置であったので前を追うことに。序盤で同志社龍谷を抜き去り、立命京産を追う。一時は先頭との差が縮まったが、後半じわじわと離される。最低限の総合3位死守には貢献できたものの区間賞を逃し、前2校を追い切れなかった。

5区 5.2km 下迫田 啓太 (2) 15分44秒 (区間5位・通過3位)

5区を走るの2回生の下迫田。前に行く立命と50秒差、京産と43秒差の3位で襷を受け取った。終始単独走であり、後半の下り坂ではあまりスピードに乗ることができず後続と差を詰められてしまった。前との差は60秒以内に収めたいところだったが、2位京産と68秒差の3位でアンカー平井健太郎に襷を渡した。

6区 9.2km 平井 健太郎 (2) 27分31秒 (区間1位・通過3位)

アンカーを走るの平井健太郎。タスキをもらった時点で3位。前を走る京都産業大とは68秒、立命館大とは92秒という大きな差があったが、逆転の可能性を信じ前半からハイペースで突っ込む。初めの3kmで前との差を一気に20秒縮め、中間点すぎの狐坂では立命と60秒、京産と44秒まで追い上げる。その後も徐々に差を詰めていくが、必死の猛追むなしく、そのまま3位でフィニッシュ。区間賞は確保したが、非常に悔しい走りとなった。

京都学生駅伝の詳細 オープンの部 ()内は対校の部も含めた相当順位

1区 7.8km 新田 一樹 (2) 25分22秒 (区間8位・通過8位)

伊勢予選の中堅主戦力となることを見据えて1区に起用された新田。序盤からの揺さぶりの中3キロ地点目前にして先頭集団から離れる。追従する滋賀大に前を譲らず前方の龍谷Bを追うが遠く、最後の1キロは背後に迫る滋賀大をなんとか躲けて総合8位で2区の岡本に襷を繋いだ。成長を僅かに感じた内容ではあったが勝負に加わるには全く力量不足で今後の目標を確認すべきレースとなった。

2区 5.2km 岡本 和晃 (2) 16分10秒 (区間9位・通過9位)

OPチームの2区を任されたのは2回生の岡本。前日のポイント練習後に選手交代が決まったため体のコンディションとしては良くはなかったが、近頃の練習を見ている限りでは調子は良く期待はあった。レース当日はライバル滋賀大の1秒前で襷をもらったものの最初の1.5kmで大きく離されてしまう。しかし終始落ち着いた走りをして終盤に抜き返し、結果としては滋賀大より2秒前で襷リレーをした。OPチームの目標である滋賀大学に勝つという目標のために最低限の仕事は果たしたが、5.2km16'10と記録の面では悔しさの残る結果となってしまった。

3区 5.4km 寶 雄也 (2) 17分22秒 (区間11位・通過10位)

3区を走るのは2回生の寶。前15秒に佛教と龍谷B、後ろ1秒に滋賀大という位置で襷を受け取った。すぐに滋賀大に追いつかれ、そのまま約4.5km過ぎの出雲路橋まで並走。この間に前の2校との距離は開いていき、滋賀大との一騎打ちとなった。そこから滋賀大がスパートをかけ一旦は離されてしまったが、何とか1秒差で4区に襷を渡した。相手の選手が同レベルであったので競り合いで負けてしまったことは悔やまれる結果となった。

4区 7.8km 稲垣 達也 (1) 26分03秒 (区間9位・通過10位)

Bチーム4区を走るのは大学初駅伝となる1回生稲垣。Bチームの目標である滋賀大から1秒遅れで襷を受け取る。500mほどで滋賀大に追いつき、そこから狐坂まで並走。狐坂を終えたところで前に出て少し引き離すも、6kmを過ぎて抜き返され、ほとんどつくことができず、結局滋賀大と9秒差で襷を渡した。前区間の流れを切り、その後の区間に負担をかけてしまう悔しい結果となった。

5区 5.2km 渡邊 駿 (M1) 16分35秒 (区間10位・通過10位)

Bチーム5区を走るのは渡邊。滋賀大から9秒、佛教大から8秒の差で襷を受ける。2校の背中を早い段階で捉えたいところであったが、前半の下りで逆に差を広げられてしまう。差を広げられた焦りもあって中盤の上りも精彩を欠き、ラストで少し差を詰めるも結局目標とする滋賀大からは区間で20秒差をつけられる結果となってしまった。

6区 9.2km 岡野 椋介 (2) 30分53秒 (区間10位・通過10位)

2年連続でOPチームの6区を走る岡野椋介。佛教大に12秒、そして滋賀大に29秒差がある展開で襷を受ける。前の佛教大を追って走るが逆に差を徐々に広げられ、狐坂のあたりでは前がほぼ見えなくなり、そこからは完全な単独走となった。後半もペースが大きく崩れることはなかったが、最後まで追い上げることが出来ないままフィニッシュ。目標としていた滋賀大とも1分25秒差にまで広がってしまい、力の差を見せつけられる悔しい結果に終わった。



ベテランらしい走りが光った久好。丹後では2区で首位に立つための布石を作った。



大会前から多くの注目を浴びていた平井(健)。見事な走りで他大学を圧倒した。



丹後では気迫のスパートを見せた横山(裕)。トリプルエースの一角として貴重な役割を果たした。



チーフとして怒涛の走りを見せ、順位を押し上げた平井(幹)。京大陸上部の存在の大きさを世に知らしめた。



蒼穹ニュース 平成 25 年度 第 8 号

平成 25 年 12 月 15 日 発行

発行所: 京都大学体育会陸上競技部

編集者: 俵谷侑吾・梶原諒一・岡野棕介(副務)

特別協力: 樋口裕磨・山口昌太・阿邊 啓明・宮垣 寛之(学連員)

長崎裕貴(記録係)・岡田洋(HP 係)

写真担当: 山田健太郎・豊本竜希・阿部健一

陸上競技部 HP <http://www.kusu.kyoto-u.ac.jp/~athletic/index.html>

陸上部記録 HP <http://www.kusu.kyoto-u.ac.jp/~athletic/kiroku/index.html>

関西学連 HP <http://gold.jaic.org/jaic/icaak/index.htm>

メールアドレス kajihara530@gmail.com (梶原)